

- 1) Bergeron, T., 1928: Über die dreidimensional verknüpfende Wetteranalyse, Geofys. Publikasjoner, Norske Videnskaps-Akad. Oslo, 5(6).
- 2) Bjerknæs, J., 1951: Compendium of Meteorology.
- 3) Bjerknæs, J. and C.L. Godske, 1936: On the theory of cyclone formation at extratropical fronts, Astrophys. Norw. 1(6).
- 4) Eliassen, E., 1960: On the initial development of frontal waves, Publ. Danske Meteorol. Inst., Meddelelser No. 13.
- 5) Eliassen, A., 1964: Motions of intermediate scale: Fronts and cyclones, Advances in Earth Science, M.I.T. Press.
- 6) Eliassen, A., 1961: Current concepts of fronts, Tenki Vol. 8, No. 1.
- 7) Kotchin, N., 1932: Über die Stabilität von Marguleschen Diskontinuitätsflächen, Beitr. Physik Atmosphäre, 18, 129.
- 8) Orlanski, I., 1968: Instability of frontal waves, J. Atmos. Sci. 25.
- 9) Solberg, H., 1928: Integrationen der atmosphärischen Störungsgleichungen, Geofys. Publikasjoner, Norske Videnskaps-Akad. Oslo, 5(9).
- 10) Solberg, H., 1933: Physikalische Hydrodynamik.
- 11) Stone, P., 1966: Frontogenesis by horizontal wind deformation fields, J. Atmos. Sci. Vol. 23, No. 5.
- 12) Williams, R.T. and J. Plotkin, 1968: Quasi-geostrophic frontogenesis, J. Atmos. Sci. Vol. 25, 201-206.

第15期第2回 理事会

議 事 録

日 時 昭和43年 8月29日 15.00~20.00

場 所 気象庁予報部会議室

出席者 大田, 北川, 根本, 朝倉, 岸保, 有住, 松本, 毛利, 竹内, 大井, 小平, 常任理事
三宅, 須田, 中島, 山元, 理事
関口, 監事

報 告

庶務: 1 8月5日付気象庁長官から, 11月26日から12月4日まで気象庁で開催されるWMO/IUGG共催による数値予報シンポジウムに出席希望者があれば9月15日までに知らせるよう照会があった。気象庁職員は含めない。

(結論) 各支部, 大学, 気象庁以外の研究所へ通知する。

2. 9月10日付日本防錆技術協会から大気曝露試験についてアンケートがきた。期限9月10日

3. 8月10日付日本学術会議中央選挙管理委員会長から, 11月27日から30日の第8期会員選挙開票立会人は推薦機関の中から各部2機関ずつ抽選で決めた。第4部は気象学会となつたので, 10月15日までに1名抽選するよう依頼があった。

4. 8月15日付, 日本科学者会議日本の科学者編集委員会から, 科研費に対する各学協会, 各研究者グループの声明, 決議その他の資料を集める計画をしたので, これらの資料があれば寄贈してほしいと依頼があった。

5. 朝日新聞社から朝日賞受賞候補者推薦の依頼がきた。期限10月10日

6. 8月20日付, 日本学術会議会長から科研費補助金の運用上の改善策について6月11日以後のおもな経緯につき通知があった。

会計: 昭和42年度の分について刊行物別に収支を分計し概算した。

集誌: 1. Serebreny の二重投稿についてアメリカ気象学会に照会中である。

3. 投稿論文が多く刊行できないものが溜っている。対策について意見を聞きたい。

(結論) Page Charge の援助について理事長から気象庁長官に申し入れて貰う。

3. 英語論文の修正を専門家に依頼することを投稿者にあっせんしてはどうか。

(結論) できるだけ事務局職員が努力するが, どうしよもないものや, 初めからあっせんを希望するものについては投稿者の意向を聞いてあっせんする。

天気: 天気に広告掲載をあっせんした者に取材費用を考慮してほしい。

(結論) 取材費の率を常任理事に提案すること。

ノート: 使用活字8ポを読み易い9ポに, また用紙の紙質をよいものにしても印刷費が同じであるから変更したい。

(結論) 今後統一されるのであれば変更してよい。

国際交流: 着手すべき事項が多い。それを考慮して委員候補者を選定した。

(以下表紙4頁に続く)